

介護人材確保対策を！



質問者
平野 由里子 議員



松田町でも小規模多機能型居宅介護施設整備事業者の公募が始まることは朗報ですが、介護人材の不足は深刻です。「ハードあっても介護なし」「保険出しても介護なし」とならないために、次のことを質問します。

じ通勤圏であれば、介護人材が条件の良い所に流出してしまう恐れがありますが、対策はしていますか。

A 介護人材の不足は大きな課題！



回答（町長）

(1) これは身体介護を伴わない生活援助サービスに限定し、59時間の研修で学べる資格だが、引き続き「介護職員初任者研修」を受講するきっかけにもなっていると聞く



福祉施設のレクリエーション風景

（重複科目は免除される）。近隣市町と連携して広域的に介護人材育成ができないか調整していく。

(2) 近隣の地域区分は、小田原市が5級地（10%加算）、秦野市は6級（6%）、山北町・箱根町は7級（3%）、南足柄市・中井・大井・開成・真鶴・湯河原町は当町と同じくその他地域（加算なし）。介護人材確保のために、同一生活圏での区分格差をなくすよう毎年国に要望している。負担面と制度の持続可能性を考慮しながら、介護保険事業計画等策定委員会ですら十分に議論していく。

自然災害による被害防止策について



質問者
古谷 星工人 議員



近年の地球温暖化による局地的大雨、台風の巨体化に伴い被害が懸念され、被害を最小限に抑えるためには事前の対策が必要と考えます。

そこで、次のことについてお伺いいたします。

(1) 町道、河川の危険個所の把握と、その対応策についてお伺いいたします。

(2) ナラ枯れが、町全域

A 平時のパトロールを地道に行う



回答（町長）

(1) 町道（農道）等は、過去に災害の発生した箇所を記録・把握している。土砂災害警戒区域や盛土造成地は、定期的にパトロールを実施している。現況の確認をすることで、事前対策の強化を図っている。

台風で被害を受けた虫沢川の復旧工事は、優先順位を付け工事を進めることで神奈川県と確認した。

(2) ナラ枯れの被害は神奈川県内で平成29年度に初めて確認され、松田町は令和元年度に被害が確認され増加している。

ナラ枯れの倒木被害防止策として、神奈川県「森林病害虫等防除事業費補助金」を活用して、ガイドラインに基づき対応する。

道路・農林道のパトロール、地域からの情報をもとに最善の手法で対応する。



台風で被害を受けた虫沢川